

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	食・緑・人 A						授業形態		講義・演習	
科目コード	170010	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	早川 純子、廣瀬 大介、紺谷 靖英、竹之山 慎一、河野 康男、田中 貴絵、日高 英二、新名 一仁								ICT活 用	○
授業概要	本学の教育研究の理念、教育目標に沿って、持続可能な社会づくりの担い手を育むために、学部・学科の学問分野を超えた特定のテーマを横断的に学ぶことを目的とした科目です。 講義テーマ：「宮崎の郷土と文化」 SDGs：11 宮崎の歴史、文化および産業等を知り、居住する地域についての理解を深め、地域問題を理解する際の基礎となる知識を身につけることを目的とします。 本学の教育研究の理念である「食・緑・人」の観点から、本学の所在地である宮崎県そして宮崎市、都都市の現状や課題について学びます。									
関連する科目										
授業の進め方 と方法	1回～13回は、オンライン（Zoom）で実施します。 14回～15回は、キャンパス別に対面でグループワークを実施します。									
授業計画 【第1回】	導入（講義説明：コーディネータ） 歴史・風土① （担当教員：非常勤 新名） 宮崎の成り立ち： 古代の日向国の変遷、古代の日向と「神話」、宮崎という地名の由来									
授業計画 【第2回】	歴史・風土 ② （担当教員：非常勤 新名） 宮崎県の歴史： 宮崎市、都都市を中心とした、平安時代から江戸時代の歴史									
授業計画 【第3回】	歴史・風土 ③ （担当教員：非常勤 新名） 地勢の観点から見る宮崎： 日向灘、太平洋に面した宮崎の特性、北部九州や畿内との交通・交流、中国大陸や琉球との海上交易									
授業計画 【第4回】	歴史・風土 ④ （担当教員：非常勤 新名） 方言・県民性・地域性： 「小藩分立」という江戸時代以来の宮崎の歴史的特性に由来する県民性、地域性									
授業計画 【第5回】	観光 ① （担当教員：短期大学部 林） ・観光とは(定義) ・「食・人・緑」と観光の関連性 ・宮崎の観光の歴史									
授業計画 【第6回】	観光 ② （担当教員：短期大学部 林） ・観光が地域にもたらす効果 ・宮崎の観光資源を知る ・最終的に観光資源を活用した地方創生型サステナブル ツアー（食農体験等）の作成									
授業計画 【第7回】	教育（担当教員：子ども教育学科 河野） 「世の中の流れをつかみ、これからの教育を考える」 ・社会の変化を身近なものから捉え、世の中の流れと変化をつかむ。 ・これからの社会を生きるうえで、必要とされる資質能力を考え、学習指導要領が目指す育てたい資質能力を理解する。 ・本県の教育的課題を知り、本県の取り組みを知る。 ・これまでの小中高での学びを振り返り取り組みの意図を理解し、これからの自分自身の学びに生かす。									
授業計画 【第8回】	農業・林業・漁業 ①（担当教員：環境園芸学科 廣瀬） 農業 宮崎県の農業におけるSDGsへの取り組み 一特に水稻栽培と飼料作物栽培に着目してー ・宮崎県農業の特徴 ・水稻栽培の現状とSDGsへの取り組み ・飼料作物栽培の現状とSDGsへの取り組み									

授業計画 【第9回】	農業・林業・漁業 ②（担当教員：管理栄養学科 竹之山） 畜産 ・畜産業とは ・日本、宮崎県の畜産 ・畜産と産業、経済 ・畜産と食生活 ・畜産と各学部や学科との関連性 ・畜産とSDGsの関係性
授業計画 【第10回】	農業・林業・漁業 ③（担当教員：環境園芸学科 日高） 林業・漁業 林業について ―SDGsに貢献する森林・林業・木材産業― ・森林とは ・宮崎県の森林資源 ・森林から生まれるビジネス ・森林・林業・木材産業とSDGsの関係性
授業計画 【第11回】	食文化（担当教員：管理栄養学科 田中） 宮崎県の特産物と郷土料理 ・郷土料理とは ・宮崎県の特産物 ・宮崎県の郷土料理
授業計画 【第12回】	主幹産業 ①（担当教員：食品開発科学科 紺谷） 食品関係 ・食品産業とは ・日本、宮崎県の食品産業 ・食品と産業、経済 ・食品と食生活 ・食品と各学部や学科との関連性 ・食品とSDGsの関係性
授業計画 【第13回】	主幹産業 ②（担当教員：非常勤 商工会議所関係） 第3次産業
授業計画 【第14回】	みんなで考える「みやざきの課題」（コーディネーター：廣瀬・紺谷・早川・竹之山） グループワーク（対面）
授業計画 【第15回】	みんなで考える「みやざきの未来」（コーディネーター：廣瀬・紺谷・早川・竹之山） グループワーク（対面）
授業の到達目標	1. 宮崎県および市町村（特に宮崎市・都城市）の歴史や文化、主要産業について基礎的な知識を身につけ、説明できるようになる。 2. 自身の居住する地域の特徴や文化的背景を理解し、他者に伝える力を養う。 3. 地域が抱える社会的・環境的課題（例：人口減少、地域資源の活用など）をSDGsの視点から捉え、簡潔にまとめることができるようになる。 4. 「食・人・緑」の観点から地域をとらえ、持続可能な社会づくりに向けた具体的な取り組み例を挙げて考察できるようになる。 5. 他学部・学科の学生と共に地域文化や地域産業の抱える課題について議論・協働し、学際的視点をもって地域への理解を深めることができるようになる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(3)
授業時間外学習【予習】	シラバスの内容からキーワードを見つけ、それに関する情報や背景を調べ、授業内容をイメージしたうえで臨むようにする。（学修に係る標準時間は約1時間）
授業時間外学習【復習】	受講した授業内容を振り返って要点を整理し、さらに関連情報を収集してまとめる。 各回で出された課題にも丁寧に取り組む。（学修に係る標準時間は約1時間）
課題に対する フィードバック	提出されたレポートを踏まえて振り返りを行う。
評価方法・基準	レポート 「わたしの考えるみやざきの未来」 100点
テキスト	必要に応じて資料を配布する。
参考書	
備考	<ZoomURL> https://us02web.zoom.us/j/88337190975?pwd=kJbrsQpno7niYbliD1GwJ6USCcjAAE.1 ミーティング ID: 883 3719 0975 パスワード: 304242